

畜産臭気への対策チーム立上げについて

環境部 環境課

畜産臭気対策は、臭気指数の見直しと畜産事業者への対策補助の拡充による改善を検討してきたが、対象の特定や客観的な指数基準強化の判断が困難であることから、庁内で対策チームを立上げ、早期の効果創出を図る。

1. これまでの取組の方向性

①臭気指数の見直し（規制の強化）

②臭気対策への補助拡充（事業者への支援）

⇒・臭気指数の引き下げや補助を拡充しても、不快だと感じる市民が減らなければ問題解決にならない。

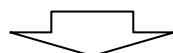
2. 課題と対応

①「臭気指数の見直し」における課題

- ・市街化区域内の臭気指数基準値「15」を上回る事業所（養豚場）は少ない。
- ・規制基準値をどこまで下げれば、市民が不快と感じる臭いが抑制されるのか客観的な判断基準が確認できない。
- ・臭気指数が低い養豚場の臭気が原因となっている場合、臭気指数を見直しても意味がない。

②「臭気対策への補助拡充」における課題

- ・現行の臭気対策補助金を拡充して、全ての養豚場で対策を講じても、市民が不快と感じる臭気を抑制できなければ効果が少ない。
- ・臭気指数が高くなる作業を特定し、集中的に対策を講じた方が効果的。
- ・現在、県の中小家畜センターで研究中の「閉鎖型豚舎における無臭技術」等の設備を全ての養豚場に導入した場合、莫大な費用が必要。



【対応案】 畜産臭気抑制に向けた「ローラー作戦」の実施

- ・「臭気対策チーム」の立上げ（産業振興課、環境課、企画政策課）
- ・市内の全養豚場で、作業と臭気指数の関係性を詳細に調査し改善策を検討

3. スケジュール

	R3										R4			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～	
対策チーム立上げ	●													
事業者との調整														
調査・改善策検討			●											
改善対策実施														

以上